

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

有限要素解析を用いた大腿骨転子下骨横骨折における近位骨片転位の程度が応力分布に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2024 年 3 月～2024 年 4 月までに当院で大腿骨を含んだ CT 撮影を受けられた、骨粗鬆症と診断されている患者様。

2. 研究目的・方法

私達は、手術が必要な大腿骨転子下骨折の患者さんに対し、様々なインプラントを用いて内固定術を行っています。髄内釘による内固定術は標準的治療の一つですが、近位部の骨片の整復が難しく、十分な整復位が得られにくいこともあります。この場合、術後のリハビリ計画、特に手術後どの時点から荷重を許可できるか不明です。

今回我々は、過去に撮影された大腿骨 CT データを用いて、大腿骨転子下骨折の髄内釘固定モデルを作成します。骨折部の転位を変化させた複数の固定モデルを作成し、有限要素解析を用いて荷重時の応力変化の違いを評価します。

研究期間は倫理委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日となります。

利用又は提供を開始する予定日:2025 年 10 月 1 日～

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、骨粗鬆症の有無、大腿骨 CT データ、その他カルテに記載された診療情報データを、個人が簡単に特定できないようにしたうえで、データ解析に利用します。また研究結果について学術雑誌や学会で報告される場合にも、あなたが特定できるような情報が公開されるようなことは一切ありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮

国立大学法人高知大学医学部整形外科学教室 佐竹哲典
電話：088-880-2387

研究責任者：

国立大学法人高知大学医学部整形外科学教室 佐竹哲典